事例No.	1668
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	沖縄県宜野湾市

事例区分	公営企業

タグ	・（公営企業）水道事業 ・下水道事業 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	包括委託

事例内容・タイトル

上下水道事業包括業務委託の導入

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【沖縄県宜野湾市】
上下水道事業包括業務委託の導入

包括委託 **水道事業・下水道事業**

沖縄県宜野湾市上下水道局総務企画課

● 取組の概要

効果的な民間活力の導入によって更なる市民サービスの向上及び業務効率化を実現するため、令和3年4月1日より上下水道事業包括業務委託を開始した。

◆総事業費　水道事業　委託料 1,527,281千円（令和3～7年度）
下水道事業　委託料　795,127千円（令和3～7年度）

◆背景

- 平成25年3月の「宜野湾市行政診断業務委託」において提言された「上下水道の組織一元化及び包括的アウトソーシング」について、同年4月に庁議決定。
- 平成30年度の上下水道統合を契機として、持続的かつ効率的で効果的な事業運営を目指すため、水道業務と下水道業務を連携した包括業務委託の検証・検討を始めた。

◆具体的内容

- 上下水道料金等の検針や調定、収納等に関する料金業務や上下水道施設の維持管理業務等の工務関連業務を包括して民間事業者へ委託することとした。

◆効果

- 包括委託による業務量の削減により、職員数及び人件費が削減された。
  職員数：職員4名、会計年度任用職員11名の減員
  人件費：水道事業▲約46,000千円/年、下水道事業▲約18,000千円/年　※決算額を比較

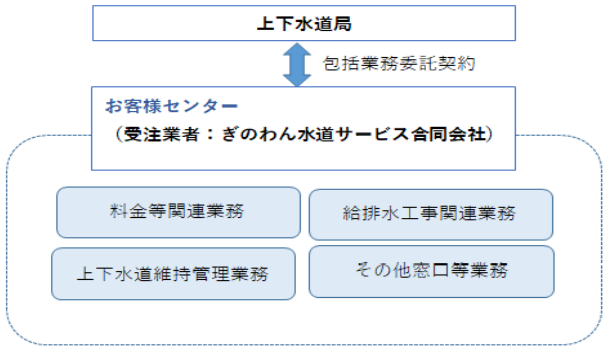
● 取組のポイント

- 利便性の向上のため、水道開閉栓のWEB受付を導入し、24時間WEBで水道の使用と中止の申込を可能とした。
- 「地理情報統合プラットフォーム」を導入し、特に維持管理における業務効率化を図った。
- サウンディング（対話型市場調査）を実施し、市場性の有無や委託範囲等について事業者から意見や提案を募り、包括業務委託の事業化にあたっての参考とした。
- 日々のモニタリングや利用者アンケートの結果を反映した、年次評価や中間評価（履行期間4年目に実施）を行い、包括業務委託の総合的な効果を検証することとした。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　100,317人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　19.8km²（令和4年1月1日時点）
- 給水人口　99,902人（令和3年度決算）
- 処理区内人口　95,843人（令和3年度決算）

上下水道事業包括委託のイメージ



● 取組のスケジュール

- 平成30年5月包括業務委託専門委員会立ち上げ、先進地視察やサウンディングを実施。
- 令和元年度に委託業務範囲、発注方法、参加資格要件等の決定、要求水準書等の作成。
- 令和2年7月に包括選定委員会を設置し、事業者選定に係るプロポーザルを実施。同年12月に優先交渉権者と契約締結。
- 令和3年4月から運用開始。

● 今後の展望

- 引き続き、市民サービスの向上及び業務効率化を図りながら、包括業務委託の総合的な効果検証を進めていく。